

主張

新婦人は2021年以降、「トイレットペーパーのように生理用品を」と全国で運動し、多くの自治体で学校や公共施設での生理用品の常備を実現させてきました。そんな中、生理用品をトイレに置いてほしいとSNSに投稿した吉田あやか三重県議会議員に、大量の殺害予告のメールなどが送り付けられました。声を上げる女性たちを黙らせる暴力行為で許されません。加害者の特定と、厳正な処罰で、こうした加害を根絶するべきです。

札幌市では4月から、市内全ての市立小中学校309校へのトイレ常備が始まりました。事前に実施した学校の生徒アンケートでは、8割が「学校で困った経験がある」と回答。「トイレットペーパーなどで代用」48・7%、「交換せずに我慢」27・9%、「遅刻、

生理用品をトイレに常備を
ペーパーのように常備を

用品が手に入る環境をつくること、女性や子どもたちの人権、健康や教育機会の保障につながります。教育現場ではいまだに男女別で生理用品の使い方を教え、「生理は女の子のもの」「持ち歩くと女の子のたしなみ」などの意識を植え付けています。子どもの頃から生理をタブーとせず、生理がある人もない人もお互いを大切にしあえる社会へ、包括的教育の実施が必要です。引き続き、学校や公共施設のトイレに生理用品常備を、と要請していきます。

「3・4しんぶんタイム交流会」に学んで
小组でタイム広がっています!



赤とんぼ班フラダンス小组でもタイムに挑戦中

「タイムはどうしてる?」と交流
千葉・松戸支部
全国交流会に参加した支部長は、「こんな暮らしが大変で政治で報告」「やっぱり小组でタイムをとらないのがおかしいのに、メディアはちゃんと報道しない。しんぶんタイムでおしゃべりして政治のタイムはどうしてる?」をテーマに、3月8日号7面(予算案クイズや読めたよ)を、読み合わせ、4グループに分かれて交流。「インターネットで『編み物』と検索した

らそれしか出てこない。新婦人しんぶんは情報が多彩。読まないと思っただけでなく、新婦人はしんぶんいろいろ話になる」など盛り上がりました。「小组でタイムは難しい」「みんなどうしてるの?」との質問に、タイムをやっている班から「一番を決めている」「レジュメに書いてあるよ」などアドバイスもあり、活発な交流に。さっそく泉ヶ丘班は班委員会話し合い、2つの小组で実践。童謡小组ではピアノの先生が来る前に「しんぶん読みましょう」と声をかけ、3月22日号1、2面を読み、「産科が

減ってるの?」「え、!?なんで?」とみんなビックリ!フラワーアレンジメント小组は、お花を生けた後のお茶休憩で初めて「しんぶんタイム」。いろいろな記事があるから、みんなで読むと交流できていい

ね」と続けることに。班総会(4月2日)でも、「小组でしんぶんを聞いて記事を一つ読みましょう」と班の方針に位置づけました。「思いきって読んでから意外と大丈夫だった」という泉ヶ丘班の経験も、常任委員会で共有。赤とんぼ班フラダンス小组でも小组終了後、しんぶんを渡すときに1面の記事をおしゃべり。次回記事を読めるように工夫します。支部では全小组でのタイム、仲間づくりも進めよう」とりくんでいます。

みんなで共有し、すぐに実践

長崎・大村支部

「交流できてよかった」「次回もやりましょう。タイムがとれていなかった小组でも、やってみると、どこでも好評です。きっかけは、全国交流会に支部委員、班長8人で参加したことです。これまでオンライン会議は2、3人で隣の支部に行つて参加してました。今回、会場をとり、支部委員全員と班長にも参加を呼びかけました。全国会議参加が初めてという人もいて、みんなで経験を共有。「小组では、選挙や政治の話はにくい。しんぶんを使った選挙力フエが参考になった」「小组でのタイムはやっぱり大事」



檜班の近現代史小组でも楽しくしんぶんタイム

「女性ニュースが短くていい」と言っていたね」「次の小组のときにどうする?」と具体的に話し合い、一気に動き出しました。花あそびや絵手紙小组は、準備や後片付けでバタバタするので、お茶タイムをとることに。そこでしんぶんをひろげると、あまり班会に來れない会員も、班や支部の活動を伝えながら交流できました。「楽しい」「続けていこう」と話しています。チェアエクササイズ小组は機関紙担当の支部委員が参加して、小组の前に記事の内容を紹介するところから始めることに。まだタイムがとれていない小组があるので、班や支部で相談しながら、全小组でのタイムをめざします。

聞き書き
母の歴史

東京都 大神田朝子さんのお話 (4)

1954年、都内の高校に入学。2年の時、叔母ががんになり入院の付き添いをして「看護婦さんになりたい」と憧れました。病院の看護婦に相談すると「看護学校に2年間入り、2年間はお礼奉公」と言われ、わが家の経済状態を考えるとあきらめました。

結局、高校卒業後、1957年の春に東京信用金庫に入りました。とつともうれしかったのを覚えています。本店の貸付業務を担当。貸付という仕事は、町のいろいろな人とのつきあいがある場所だったので、自分で貸付できる場所までいきたいとすぐがんばりました。ですが、一緒に入った人たちでも男の人は給料が高く、私には雑用ばかり割り振られ不安でした。

翌年、東京信用金庫の労働組合ができました。労働時間は長く、残業手当も支払われず、縁故入社が多いので人によって賃金も違いました。組合ができて、ボーナス・期末手当に加え、3月に年度末手当が支給されるようになりました。労働条件の事前協議制の協定まで結ぶことができ、全国一位の信用金庫の賃金体系と労働条件を勝ち取ることができました。

当時は労働組合が各地で力をふるっていました。金融の再編成の中で経営からの攻撃も大きくなりました。労働条件が切り崩され、労働組合の弾圧に乗り出してきたのです。芝信用金庫や大同信用組合などいろいろな信用金庫で争議が勃発しました。



信用金庫時代、同僚たち。後列右端が大神田さん

東京信用金庫の本店に入社

1954年、都内の高校に入学。2年の時、叔母ががんになり入院の付き添いをして「看護婦さんになりたい」と憧れました。病院の看護婦に相談すると「看護学校に2年間入り、2年間はお礼奉公」と言われ、わが家の経済状態を考えるとあきらめました。結局、高校卒業後、1957年の春に東京信用金庫に入りました。とつともうれしかったのを覚えています。本店の貸付業務を担当。貸付という仕事は、町のいろいろな人とのつきあいがある場所だったので、自分で貸付できる場所までいきたいとすぐがんばりました。ですが、一緒に入った人たちでも男の人は給料が高く、私には雑用ばかり割り振られ不安でした。翌年、東京信用金庫の労働組合ができました。労働時間は長く、残業手当も支払われず、縁故入社が多いので人によって賃金も違いました。組合ができて、ボーナス・期末手当に加え、3月に年度末手当が支給されるようになりました。労働条件の事前協議制の協定まで結ぶことができ、全国一位の信用金庫の賃金体系と労働条件を勝ち取ることができました。当時は労働組合が各地で力をふるっていました。金融の再編成の中で経営からの攻撃も大きくなりました。労働条件が切り崩され、労働組合の弾圧に乗り出してきたのです。芝信用金庫や大同信用組合などいろいろな信用金庫で争議が勃発しました。